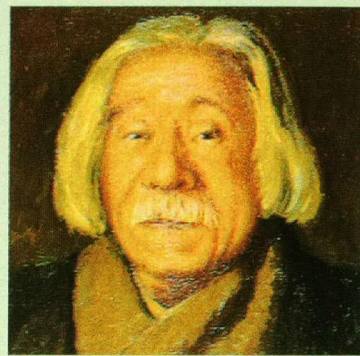


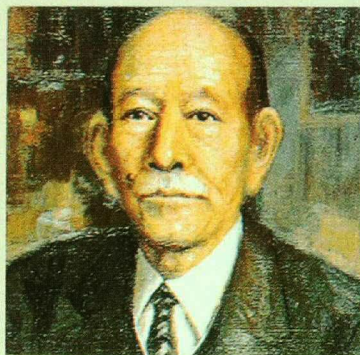
徳富蘇峰(本名・猪一郎)氏
(昭和30年1月1日表彰)

近世日本の先覚者。また、世界に稀な優れた思想家であった。熊本在住中は、白川新聞、熊本新聞等を発刊。大江義塾の創始者として子弟の教育に専念し、その啓蒙的影響が大であった。文久3年1月25日生れ、昭和32年11月2日死去、94歳。



高橋守雄氏
(昭和30年1月1日表彰)

第7代熊本市長として、歩兵23連隊の移転・市電・上水道の開設の三大事業を完遂、市の近代化、発展繁栄に尽した。また、教育者として熊本商大、短大学長を歴任、郷土教育の振興育成に努力した。明治16年1月1日生れ、昭和32年5月3日死去、73歳。



細川護立氏
(昭和35年4月1日表彰)

肥後旧藩主細川家16代。有斐学舎舎長、肥後奨学会設立、多額の奨学金を出資して本県出身学徒の育成援護に尽した。国の文化財保護委員会委員として、本市の重要文化財、史跡、名勝等の保存活用に貢献。明治16年10月21日生れ、昭和45年11月18日死去、87歳。



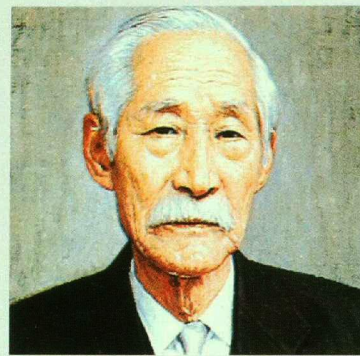
福田令寿氏
(昭和35年4月1日表彰)

医師開業のかたわら、医専五高等で教鞭をとり子女の教育に専念の外、社会文化、社会福祉の要職を歴任、郷土の文化・福祉の向上発展に尽した。清廉・潔白な人格者であった。明治5年12月7日生れ、昭和48年8月7日死去、100歳。



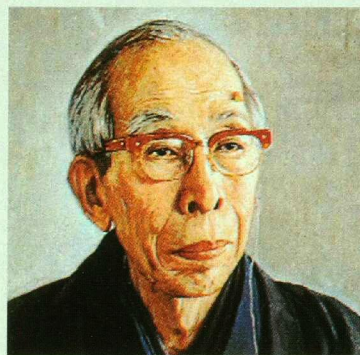
宇野哲人氏
(昭和44年10月1日表彰)

東京帝国大学での漢学・中国哲学の教授、東京大学名誉教授、実践女子大学々長、名誉教授等優れた業績は、郷土熊本の文運の興隆に、また、我国の漢学関係の学者者に多大の影響を与えた。明治8年11月15日生れ、昭和49年2月19日死去、98歳。



塀山南風(本名・熊次)氏
(昭和44年10月1日表彰)

横山大観画伯等に師事し、日本画に精進。その多くの作品の上に、肥後の郷土色のにじみ出た芸術の香りがよく生かされている。日本画壇の第一人者といわれ、また、郷土文化の進展に大きく貢献した。明治20年9月12日生れ、昭和55年12月30日死去、93歳。



後藤是山(本名・祐太郎)氏
(昭和54年10月1日表彰)

元九州日日新聞社主筆。生来の文人墨客の性格と豊かな文筆で、数多くの郷土史を編さん監修、先人についての研究著述があり熊本の文化の啓蒙に尽した。「明星」同人、句誌「かはがらし」(後の東火)を主宰した。明治19年6月8日生れ、昭和61年6月4日死去、99歳。



中村汀女(本名・破庵)氏
(昭和54年10月1日表彰)

高浜虚子の門下生で、現代女流俳句の第一人者。常にふるさとを愛する心を底流にした“汀女俳句”は、氏の人柄と句にふれる人々に、郷土愛を喚起させ、郷土の文化振興に貢献。「ホトギス」同人、「風花」を主宰した。明治33年4月11日生れ、昭和63年9月20日死去、88歳。



名誉市民

Kumamoto's Honorary Citizens



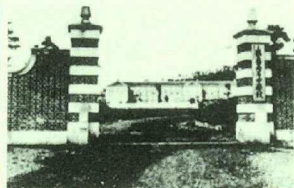
熊本は、昔から「火の国」と呼ばれてきました。大化の改新のあと、奈良時代に入って現出水校区内に国府がおかれしました。こののち、室町時代になると、出田秀信がはじめて熊本に千葉城を築き、数代後の城主鹿子木親員が、新しく茶臼山に城を築いて隈本城と呼びました。

豊臣秀吉が全国を制覇すると、加藤清正と小西行長に肥後を分領させましたが、徳川の天下になると、加藤清正は肥後54万石の領主となり、慶長6年から茶臼山に城を築き、隈本城から熊本城に改めました。こののち細川忠利が肥後の領主となり、以後細川家が明治まで二百有余年間続きました。

明治10年西南の役で、市街地の大部分が戦火に遭いましたが、直ちに復興し明治22年には熊本市が誕生し

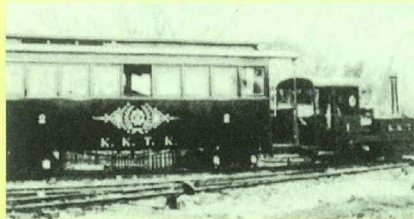
ました。大正から昭和にかけては、九州における政治・経済・教育の中心地として発展を続けました。しかし、昭和20年には大空襲により、昭和28年には大水害により市街地は壊滅的な被害を受けました。その後、市民の不断の努力によって復興した熊本市は、数次にわたる市域の拡大や近代的都市機能の集積を行い、近時では、平成3年2月1日、飽託郡の北部町、河内町、飽田町、天明町と合併し、63万人の人口を有するようになりました。

さらに、平成8年4月には中核市へ移行し、平成11年には市総合屋内プールの建設や「一口城主」による熊本城の復元整備等を進めるなど、魅力あるまちづくりに取り組んでいます。

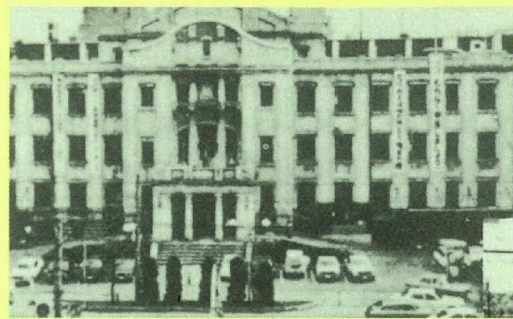
元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと
大化 文明 明応 慶長	2(646)	砂取付近に肥後の国府および兵力4軍団が設置	明		1校)が創立	明	7月	第五高等中学が古城から黒髪に移転	明	29(1896)	夏目漱石が五高に着任、
	1(1469)	菊池氏の一族、出田秀信千葉城を築く					4月	熊本を森の都と称賛			
	5(1496)	鹿子木親員、古城に居城を移し、隈本城と称する		鎮花畑本宮と熊本城、現在の市民会館前から撮影したもので大小天守閣が見える。明治5年頃。	31(1898)		熊本専売支局が黒髪町に				
	6~12(1601~1607)	加藤清正、現在地に熊本城を築き、河川の築堤、井戸の掘削など行う		22(1889)	市町村制が施行され、熊本市が誕生		1月	葉煙草専売所設置			
	9(1632)	細川忠利、肥後藩主となる		4月	市域面積5.55km ² 、人口42,725人、戸数11,795戸、市議会議員数30人、市職員48人		10月	フランス人、ジョン・メリー・コール神父が難救済の徒勞院を設立			
寛永 宝暦	4~6(1754~1756)	藩校時習館、医学校再春館、蕃滋園(薬草園)などが創設	治	6月	赤十字社熊本支部設立	治	23(1890)	教育勅語発令(井上毅と元田永孚が成案)	治	33(1900)	市内に大洪水、白川の橋ほとんど流失し、子飼橋付近溺死者多数
	3(1870)	古城に医学校が創設		新南千反畑町、現在の白川公園前に市役所が開庁	11月		第1回帝国議会在開会	7月		明治天皇をお迎えし、陸軍特別大演習を挙行	
	4(1871)	鹿藩置県により熊本県が設置		24(1891)	門司・熊本間の九州鉄道が開通		7月	熊本電燈会社が開業し九州に初めて電燈がともる		35(1902)	明治天皇をお迎えし、陸軍特別大演習を挙行
		鎮西鎮花(九州および中国西部を管轄)が設置		熊本洋学校が創立	11月		ラフカディオ・ヘルン(小泉八雲)五高に着任	11月		行幸橋を架設	
	7(1874)	九州最初の新聞、白川新聞発行		25(1892)	塘林虎五郎が貧児寮(現大江学園)を設立		36(1903)	市区改正の事業と新市街の事業完成			
明治	10(1877)	西南の役、市街地の大半が兵火により焼失	治			治	27(1894)	孤児・貧児の養育を目的とした天使園が設立	治	37(1904)	日露戦争勃発
	19(1886)	熊本逓信管理局(郵務・電務関係)が設置		7月	とした天使園が設立		2月				
	20(1887)	第五高等学校(九州に		8月	日清戦争勃発		39(1906)	熊本高等工業学校設立			
				28(1895)	イギリス人ハンナ・リデル女史が回春病院設立		3月	夏目漱石が「草枕」を発表			



明治34年に市内の電話が開通した。交換手の白い上衣、紫袴は当時の女性の憧れだった。



軽便鉄道。
K.K.T.Kは熊本軽便鉄道株式会社の略。

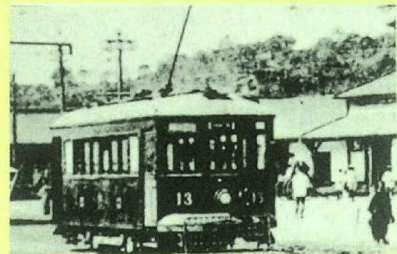


大正12年12月、市役所新庁舎完成。

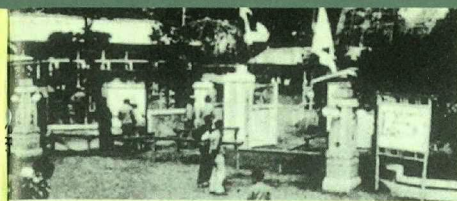
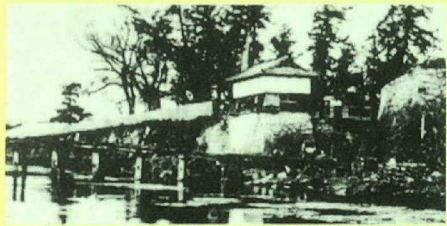
昭和2年12月から17台の市営バスが走り始めた。（写真は昭和8年6月）



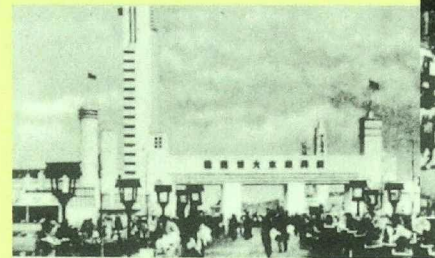
大正13年8月1日市電開通。救助網がついている開通当時の13型電車。



旧熊本城南大手入口の下馬橋。明治35年11月の陸軍大演習の際、行幸坂、行幸橋が造られ姿を消した。



昭和4年7月に水前寺動物園が開園。



昭和10年3月から5月にかけて開かれた新興熊本大博覧会



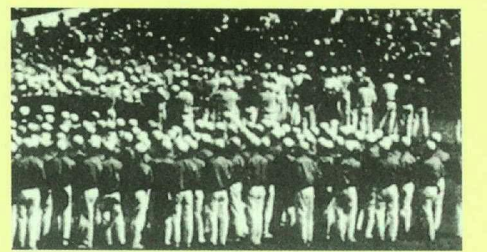
昭和10年頃の市新街記念碑前、市営バスの発着所。左に専売局と公会堂、右に勤業館、電話局が見える。



昭和5年10月 市公会堂新館が開館
昭和43年市民会館の出現に伴い取りこわされた。



「昭和28年6月26日」大水害の惨状。至る所泥の山。流失した家財などを復旧に多くの人手、資材と日数を要した。（上通り筋）



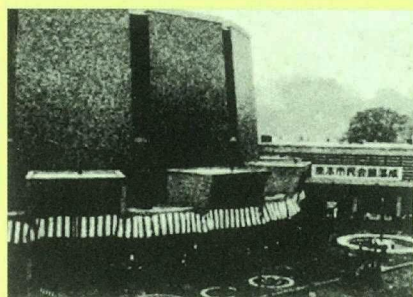
昭和35年10月、第15回国民体育大会は、全国から1万3千人が集まり盛大に開催された。



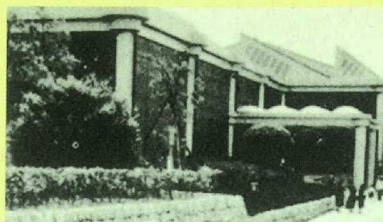
昭和35年9月、83年ぶりに熊本城天守閣が再建された。

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと
明治	40(1907)	熊本軽便鉄道株式会社が安代橋・水前寺間に軽便鉄道を敷設	大正	11(1922)	春竹・大江・本山) 熊本市立実科高等学校が熊本市立高等女学校となる	昭和	4月	市営勤業館が新市街に開館	昭和	20(1945)	市立本荘産院が発足
	41(1908)	人力車争いおこる		4月	熊本市立高等女学校となる		6月	市公会堂新館が開館		6月	市立本荘産院が発足
	42(1909)	鹿児島本線全線開通		5月	熊本市立高等女学校となる		7月	白坪村を市に合併		7月	7月・8月の空襲で市の大半が焦土と化す
	43(1910)	薬学専門学校発足		12(1923)	熊本市立高等女学校となる		11月	天皇陛下をお迎えし、熊本平野等で陸軍特別大演習を挙げる		8月	終戦の詔書放送
	44(1911)	女子師範学校発足		12(1923)	熊本市立高等女学校となる		2月	市立市民病院発足		21(1946)	市立市民病院発足
	45(1912)	熊本ガス株式会社が開業		13(1924)	熊本市立高等女学校となる		11月	日本国憲法公布(新憲法)学校給食開始		4月	市立図書館発足
	46(1913)	市立実科高等女学校開校		8月	熊本市立高等女学校となる		12月	市立図書館発足		10月	市立図書館発足
	47(1914)	市立工業徒弟学校開校		11月	熊本市立高等女学校となる		3月	花園市営墓地開設		3月	花園市営墓地開設
	48(1915)	市立工業徒弟学校開校		14(1925)	熊本市立高等女学校となる		10(1935)	新築熊本大博覧会を開催		5月	新築熊本大博覧会を開催
	49(1916)	市立工業徒弟学校開校		11月	熊本市立高等女学校となる		11(1936)	健軍村を市に合併		3月	市消防本部設置
大正	2(1913)	この年、熊本軌道が田崎・百貴港、田崎・高麗門に開通	昭和	4月	出木村を市に合併	昭和	4月	清水村を市に合併	昭和	30(1955)	市自治警察本部設置
	3(1914)	第1次世界大戦はじまる		2月	長六橋を近代式鉄橋に架け替える		15(1940)	川尻町、日吉村、力合村を合併		4月	市自治警察本部設置
	7(1918)	全国に米騒動		12月	市営バス発足(バス17台)		12月	この年、市営バスに木炭車登場		24(1949)	新制高等学校発足
	7(1918)	全国に米騒動		3月	この年、市及び市付近の人力車812、乗用馬車4、自動車115		16(1941)	太平洋戦争勃発		4月	「火の国まつり」開始
	10月	スペイン風邪が流行し、全国で死者15万人		3(1928)	第16回総選挙、最初の普通選挙行われる		12月	九州日日新聞と九州新聞が統合され、熊本日日新聞が発足		5月	市立実務員養成所(後の実務商業)を開設
	9(1920)	第1回国勢調査で、市人口70,388人		6月	NHK熊本放送局でラジオ初放送		4月	学徒、女子挺身隊の戦時動員開始		25(1950)	天皇皇后両陛下ご来熊
	10(1921)	隣接11カ町村を合併、人口133,467人、戸数23,819戸の大熊本市が発足		9月	御大典記念事業として、陸上競技場・野球場が完成		18(1943)	健軍に三菱重工業航空機製作所が完成する		7月	国立熊本大学発足、県立熊本女子大学創設
	6月	(黒髪・池田・花園・島崎・横手・春日・古町・本荘・		4(1929)	水前寺動物園が開園		19(1944)	市電気が市交通局と改称		26(1951)	市立熊本保健所を上林町に開設
				5(1930)	熊本市歌を制定		3月				
昭和	40(1907)	熊本軽便鉄道株式会社が安代橋・水前寺間に軽便鉄道を敷設	大正	11(1922)	春竹・大江・本山) 熊本市立実科高等学校が熊本市立高等女学校となる	昭和	4月	市営勤業館が新市街に開館	昭和	20(1945)	市立本荘産院が発足
	41(1908)	人力車争いおこる		4月	熊本市立高等女学校となる		6月	市公会堂新館が開館		6月	市立本荘産院が発足
	42(1909)	鹿児島本線全線開通		5月	熊本市立高等女学校となる		7月	白坪村を市に合併		7月	7月・8月の空襲で市の大半が焦土と化す
	43(1910)	薬学専門学校発足		12(1923)	熊本市立高等女学校となる		11月	天皇陛下をお迎えし、熊本平野等で陸軍特別大演習を挙げる		8月	終戦の詔書放送
	44(1911)	女子師範学校発足		12(1923)	熊本市立高等女学校となる		2月	市立市民病院発足		21(1946)	市立市民病院発足
	45(1912)	熊本ガス株式会社が開業		13(1924)	熊本市立高等女学校となる		11月	日本国憲法公布(新憲法)学校給食開始		4月	市立図書館発足
	46(1913)	市立実科高等女学校開校		8月	熊本市立高等女学校となる		12月	市立図書館発足		10月	市立図書館発足
	47(1914)	市立工業徒弟学校開校		11月	熊本市立高等女学校となる		3月	花園市営墓地開設		3月	花園市営墓地開設
	48(1915)	市立工業徒弟学校開校		14(1925)	熊本市立高等女学校となる		10(1935)	新築熊本大博覧会を開催		5月	新築熊本大博覧会を開催
	49(1916)	市立工業徒弟学校開校		11月	熊本市立高等女学校となる		11(1936)	健軍村を市に合併		3月	市消防本部設置
昭和	2(1913)	この年、熊本軌道が田崎・百貴港、田崎・高麗門に開通	昭和	4月	出木村を市に合併	昭和	4月	清水村を市に合併	昭和	30(1955)	市自治警察本部設置
	3(1914)	第1次世界大戦はじまる		2月	長六橋を近代式鉄橋に架け替える		15(1940)	川尻町、日吉村、力合村を合併		4月	市自治警察本部設置
	7(1918)	全国に米騒動		12月	市営バス発足(バス17台)		12月	この年、市営バスに木炭車登場		24(1949)	新制高等学校発足
	7(1918)	全国に米騒動		3月	この年、市及び市付近の人力車812、乗用馬車4、自動車115		16(1941)	太平洋戦争勃発		4月	「火の国まつり」開始
	10月	スペイン風邪が流行し、全国で死者15万人		3(1928)	第16回総選挙、最初の普通選挙行われる		12月	九州日日新聞と九州新聞が統合され、熊本日日新聞が発足		5月	市立実務員養成所(後の実務商業)を開設
	9(1920)	第1回国勢調査で、市人口70,388人		6月	NHK熊本放送局でラジオ初放送		4月	学徒、女子挺身隊の戦時動員開始		25(1950)	天皇皇后両陛下ご来熊
	10(1921)	隣接11カ町村を合併、人口133,467人、戸数23,819戸の大熊本市が発足		9月	御大典記念事業として、陸上競技場・野球場が完成		18(1943)	健軍に三菱重工業航空機製作所が完成する		7月	国立熊本大学発足、県立熊本女子大学創設
	6月	(黒髪・池田・花園・島崎・横手・春日・古町・本荘・		4(1929)	水前寺動物園が開園		19(1944)	市電気が市交通局と改称		26(1951)	市立熊本保健所を上林町に開設
				5(1930)	熊本市歌を制定		3月				

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと
昭和	4月	市教育研究所を設置	昭和	3月	出水町に県庁新庁舎が完成	昭和	50(1975)	身体障害者福祉モデル都市に指定される	昭和	50(1975)	身体障害者福祉モデル都市に指定される
	27(1952)	市立博物館開館		43(1968)	市民会館開館		5月	南千反畑町に中央老人福祉センターが完成		5月	南千反畑町に中央老人福祉センターが完成
	1月	住民登録制度を実施		34(1959)	市社会教育会館が開館		9月	市立金峰山少年自然の家が開所		9月	市立金峰山少年自然の家が開所
	7月	田迎村、御幸村を市に合併		4月	国民年金制度発足		10月	市立金峰山少年自然の家が開所		10月	市立金峰山少年自然の家が開所
	28(1963)	豪雨、大水害で市人口の66%が罹災		7月	国民健康保険制度発足		51(1976)	「地下水保全都市」を宣言		51(1976)	「地下水保全都市」を宣言
	4月	池上村、高橋村、城山村を市に合併		35(1960)	熊本空港開設		3月	西南の役百周年記念式典を行う		3月	西南の役百周年記念式典を行う
	6月	池上村、高橋村、城山村を市に合併		4月	愛市憲章を制定		5月	熊本市章を定める		5月	熊本市章を定める
	7月	市立図書館発足		5月	熊本城天守閣再建完成		8月	託麻村を市に合併		8月	託麻村を市に合併
	10月	市立図書館発足		8月	第15回国民体育大会を開催		11月	新築熊本大博覧会を開催		11月	新築熊本大博覧会を開催
	29(1954)	ラジオ熊本開局		9月	西保健所を開設		4月	新築熊本大博覧会を開催		4月	新築熊本大博覧会を開催
昭和	4月	市自治警察本部設置	昭和	37(1962)	天守閣再建記念「躍進熊本大博覧会」開催	昭和	53(1978)	新しい熊本博物館が開館	昭和	53(1978)	新しい熊本博物館が開館
	10月	秋津村を市に合併		3月	市自治警察本部設置		4月	東部清掃工場完成		4月	東部清掃工場完成
	30(1955)	市電30年記念「交通観光博覧会」を開催		10月	市電30年記念「交通観光博覧会」を開催		5月	新築熊本大博覧会を開催		5月	新築熊本大博覧会を開催
	4月	松尾村を市に合併		38(1963)	北部清掃事業所開所		7月	熊本市基本構想を定める		7月	熊本市基本構想を定める
	31(1956)	託麻村の一部を市に合併		39(1964)	市総合計画策定(マスタープラン)		4月	「森の都」を宣言し、森の都作戦を展開		4月	「森の都」を宣言し、森の都作戦を展開
	4月	託麻村の一部を市に合併		4月	市総合計画策定(マスタープラン)		10月	秋津下水処理場が完成		10月	秋津下水処理場が完成
	32(1957)	小島村、龍田村を市に合併		12月	東部汚水処理場完成		12月	戸島町に市斎場開設		12月	戸島町に市斎場開設
	1月	大水害で市の33%が浸水し、金峰山周辺の山津波で死者、行方不明者多数を出す		40(1965)	市食肉センター開所		5月	学校給食東共同調理場が完成		5月	学校給食東共同調理場が完成
	7月	大水害で市の33%が浸水し、金峰山周辺の山津波で死者、行方不明者多数を出す		4月	この年、市内全小学校にプール完成		6月	勤労婦人センターを本山町に開設		6月	勤労婦人センターを本山町に開設
	33(1958)	NHK熊本テレビ開局		41(1966)	西部清掃事業所開所		10月	西部、南部市民センターが完成		10月	西部、南部市民センターが完成
昭和	2月	中島村を市に合併	昭和	9月	市民相談室を設置	昭和	55(1980)	身障者福祉センター希望荘開設	昭和	55(1980)	身障者福祉センター希望荘開設
	4月	天皇皇后両陛下ご巡幸で立田山、水前寺などをご観覧		10月	熊本保健所が九品寺1丁目に新装発足		8月	水害で約16,800人の市民の罹災者を出す		8月	水害で約16,800人の市民の罹災者を出す
				42(1967)	第30回選抜高校野球大会		12月	熊本市総合計画基本構想		12月	熊本市総合計画基本構想



昭和43年1月6日市民
会館が完成。一、ハ○
人収容の大ホールと
各種の会議室を備えた
近代建築。



郷土熊本に根ざした西日本
一を誇る熊本博物館が昭和
53年4月1日に開館した。



昭和56年3月、産業文化
会館が完成



昭和46年6月、熊本・植木間の
高速自動車道が開通した。



平成2年4月、総合婦人
会館・カルチャーセンタ
ーオープン。



昭和56年11月
新市庁舎完成。



平成2年6月、水資源
国際会議が開催



平成2年10月
「水の科学館」
が開館。



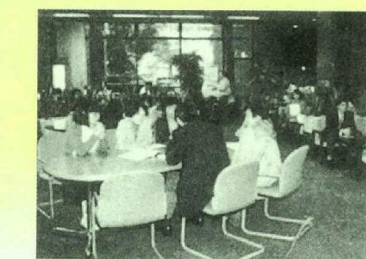
平成5年3月、熊本港一部開港



平成5年9月、
大名屋敷・旧細川刑部邸完成



平成6年9月、
「市民子ども憲章」を制定

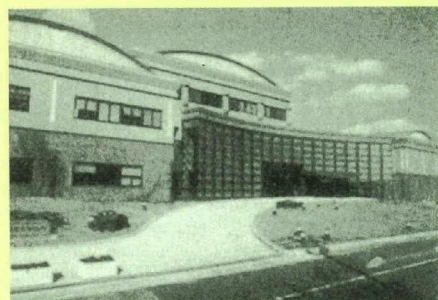


平成6年9月、国際交流会館
オープン

平成7年4月、市民交流サロンオープン

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと
昭	56(1981)	きまる	昭	8月	秋津市民センター完成	昭和	10月	グ発表会) くまもと緑化祭・地場産 業振興フェア開催	平	3(1991)	花岡市民センターがオープン 市民長寿社会憲章制定 平成学園オープン 「水の科学館」が開館
	1月	熊本県保健衛生研究所開設		1月	熊本市自転車駐輪場完成		元(1989)	4月		2月	熊本市と飽託郡四町が合併 熊本市基本構想策定
	2月	熊本城西大手門復元完成		3月	電子計算システム始動		4月	市制施行100周年 「熊本百彩」開幕		3月	熊本市基本構想策定
	3月	産業文化会館が開館		4月	西部清掃工場完成・東部 清掃事業所開設		5月	「水源かん養林記念植樹祭」 サンアントニオ市に「熊 本園」完成		4月	五福地域開発センターが 落成
	5月	託麻市民センター完成		7月	総合体育館・青年会館開館		8月	金糸線一般公開		5月	本荘犬洲線立体交差開通
	7月	熊本市総合計画基本計画 きまる		8月	第4回全国都市緑化くま もとフェア開催		9月	宇土橋・数寄屋丸二階卸 広間完成		6月	南部総合スポーツセンタ ーがオープン
	11月	新市庁舎建設完成		10月	10月1日を「市民健康の 日」と制定		10月	動物資料館完成		7月	くまもと工芸会館がオー プン
	57(1982)	幸田市民センター完成		11月	川尻下水処理場運転開始		2	熊本城フェスティバル 歴史都市サミット開催		9月	台風19号来襲
	6月	北部保健センター開設		4月	「ふれあいの森林」内に森 林学習館がオープン		(1990)	政治倫理条例制定		10月	動植物園がオープン
	7月	小楠記念館完成		5月	南部市民センター開設		3月	「総合婦人会館・カルチャ ーセンター」がオープン		1月	熊本市総合計画基本計画 策定
和	58(1983)	市図書館完成	和	62(1987)	川尻下水処理場運転開始	平成	4月	武蔵塚公園が新たに開園	成	3月	高規格救急車が消防局に 配備
	4月	龍田体育館完成		7月	「ふれあいの森林」内に森 林学習館がオープン		5月	川尻下水処理場汚泥焼却 場完成		4月	熊本城周遊バスがスタート
	59(1984)	市の鳥としてシジュウカ ラ制定		9月	西消防署が移転新築		6月	中国・桂林市、アメリカ・ サンアントニオ市、ドイツ・ ハイデルベルグ市を迎え 「水資源国際会議」を開催		5月	ハイデルベルグ市との友好 都市締結の調印式
	7月	扇田埋立処分場供用開始		10月	第1回熊本緑化祭開催		7月	上高橋団地が完成		5月	東部環境工場が完成
	8月	清水市民センター完成		12月	米田・サンアントニオ市 と姉妹都市締結		8月	江津湖まつり(マイソン		9月	日吉・桜木中学校が開校
	10月	熊本市の人口が55万人 を突破		63(1988)	くまもと女性フォーラム '88開催		9月	「水資源国際会議」を開催		10月	高速消防艇「金峰」が就航
	60(1985)	消防新庁舎完成		1月	シルバー人材センター発足		10月				
	6月	母子福祉センター完成		2月	大坂事務所オープン						
				4月	大江市民センター完成						
				7月	江津湖まつり(マイソン						
				8月							

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと
平	8月	熊本駅前北地区第一種市街地再開発事業完了	平	8月	交通・水道事業70周年記念式典	平	9(1997)	付事業)スタート くまもとお城まつり開幕 中核市災害時相互応援協 定締結	平	7月	ドームくまもと)完成 中核市サミット'98in熊 本開催
	11月	長寿の里デイサービスセ ンターが完成		9月	国際交流会館がオープン 「市民子ども憲章」を制定		11月	熊本市人口が66万人を突破			
		南部第一土地区画整理事 業完了		11月	福井市と姉妹都市締結		11(1999)				
	5(1993)			7(1995)			3月	国体関連道路東西線・南 北線供用開始			
	2月	辛島公園地下駐車場が完成		1月	兵庫県南部地震第1次災 害救援隊派遣		7月	熊本城復元整備事業に本 格着手(南大手門等起工)			
		環境総合計画まとまる		3月	子ども文化会館オープン		8月	熊本市スポーツ都市宣言を 熊本市議会において決議			
	3月	熊本港が一部開港		4月	健康文化ホールオープン		9月	39年振りの国民体育大会 「くまもと未来国体」開催			
	8月	保田窪放水路完成			いじめ110番業務開始		11月	全国身体障害者スポーツ 大会「ハートフルくまも と」大会開催			
		新熊本市史発刊			市民交流サロンオープン						
		大名屋敷・旧細川刑部邸 が完成			武蔵塚駅前自転車駐輪場 オープン						
成		駐車場案内誘導システム がスタート	成	5月	日吉東小学校完成	成	6月	「エコ」完成 「くまもとよかよかボラ ンティアプラン」策定	成	12月	全国マスタース陸上競技 選手権熊本大会を開催
	10月	「火の国フェスタ・くまも と'93」が開幕		9月	環境保全都市を宣言		8月	超低床電車運行開始、ノ ンステップバス運行開始		12月	手取本町地区第一種市街 地再開発事業着工
		透明ごみ袋によるごみ出 し制度スタート		11月	高齢者世話付住宅出水団 地完成		11月	フードパル熊本オープン		12(2000)	
		ゆうあいピック熊本大会 開催		12月	熊本市人口65万人突破		10(1998)			1月	上通A地区第一種市街地 再開発事業着工
	6(1994)			8(1996)	第1回熊本県消防広域応 援合同訓練		1月	環境情報表示板運用開始		4月	市立商業高等学校が千原 台高等学校に名称変更
	2月	老人保健福祉計画を策定		1月	中核市移行		3月	熊本市情報公開条例制定 (10月情報公開条例施行 窓口開設)			熊本市こどものない街を創 る条例施行
	4月	天明総合支所庁舎が完成		4月	後藤屋山記念館落成						
		東部環境工場が完成		5月	熊本市行政改革大綱策定		4月	熊本城復元募金制度発足			
		日吉・桜木中学校が開校		9月	さくらカード(優待証交		6月	総合屋内プール(アクア			
	5月	高速消防艇「金峰」が就航		10月							



平成7年6月、環境総合センターオープン



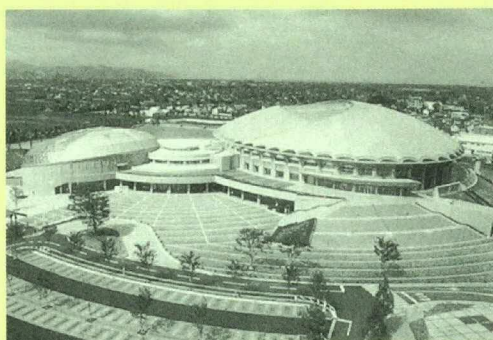
平成8年4月、
中核市移行記念式



平成9年5月、男子世界ハンドボール
選手権大会・熊本開催



平成9年8月、超低床電車運行開始ノンステップバス運行開始



平成10年6月、
総合屋内プール(アクアドームくまもと)完成



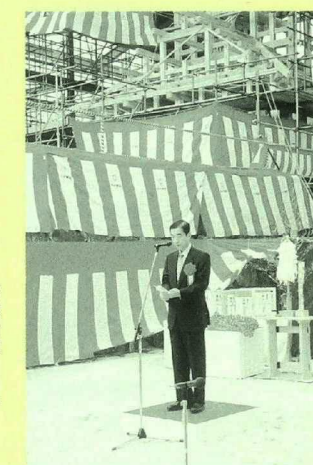
平成11年3月、国体関連道路東西線・南北線供用開始



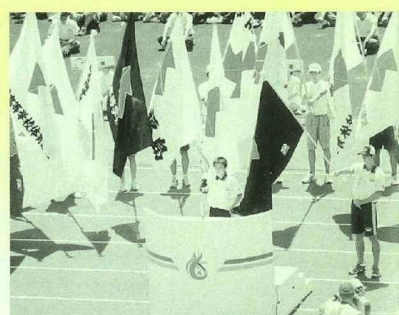
平成11年9月、
第54回国民体育大会開催



平成12年4月
熊本市ごみのない街を創る条例施行



平成13年4月、
熊本城西出丸一帯建造物復元工事上棟式



平成13年8月
「ひのくに新世紀総体」開催



平成13年11月
「都心循環ゆうゆうバス」運行開始

元号	年(西暦)	できごと	元号	年(西暦)	できごと
平成	5月	乳幼児医療費助成対象拡大(ひまわりカード)	平成	4月	市立高等学校が必由館高等学校に名称変更
	9月	熊本ウィーク・イン・ハイデルベルク開催		8月	熊本城西出丸一帯建造物復元工事上棟式
	2月	熊本市と旧飽託4町合併10周年		10月	「ひのくに新世紀総体」開催
	3月	第5次熊本市総合計画策定		11月	大型ごみ有料化スタート
平成	13(2001)		平成	11月	都心循環「ゆうゆうバス」運行開始

市民の 暮らし

Life in Kumamoto



世帯人口 1世帯当り2.5人
2.5 people/household



人口密度 1km²に2,496人
2,496 people/square kilometer



乗用自動車(軽自動車を含む)1世帯に1.0台
1.0 cars/household (including light vehicles)



出生 1日につき19.1人
19.1 births/day



死亡 1日につき12.1人
12.1 deaths per/day



転入 1日につき89.3人
89.3 moving-ins/day



転出 1日につき86.7人
86.7 moving-outs/day



結婚 1日につき13.1組
13.1 marriages/day



離婚 1日につき4.7組
4.7 divorces/day



犯罪 1日に33.1件
33.1 crimes/day



火災 1日に0.63件
0.63 fires/day



交通事故 1日に15.7件
15.7 traffic accidents/day



酒 1人1日0.14リットル
0.14 liters of alcohol drunk per person/day



市職員 市民98人に1人
One civil servant/98 citizens



消防職員 市民1,066人に1人
One firefighter/1,066 citizens



水道使用料 1日1人あたり259ℓ
259 liters of water used per person/day



ごみ収集量 1日に914トン
914 tons of trash/day



市税 市民1人当り127,831円
127,831 yen city tax/person



市の予算 市民1人当り335,517円
335,517 city budgets/citizen

(人口関係は平成13年分、予算は平成13年度当初予算額、その他は平成12年又は12年度分の数値)
Population budget related information is as of 2001, and other figures are from 2000.



光るグリーンシティ

作 詞 藤本征男
補作・作曲 イルカ

1. 白い長扉 お堀にゆれて
楠の若葉に 小鳥が歌う
心そよがす 春風のように
かがやく明るい 日差しのように
グリーンシティー 広い 父の背中に似て
グリーンシティー あつい 母の胸のように
その大きな あなたが まぶしくて……
愛しています……くまもと
2. 清らかな水に 花びら浮かべ
二人の愛を うつつ水前寺
君をつつんで 生きてゆくよと
見上げる青空 あの雲のように
グリーンシティー 広い 父の背中に似て
グリーンシティー あつい 母の胸のように
その大きな あなたが まぶしくて……
愛しています……くまもと
3. 阿蘇にとぼりが 静かにおりて
夕日に燃える 有明の海
明日を夢みて 希望をだいて
家路をたどる あの鳥のように
グリーンシティー 広い 父の背中に似て
グリーンシティー あつい 母の胸のように
その大きな あなたが まぶしくて……
愛しています……くまもと

くまもとマイソング「光るグリーンシティ」は、熊本市制100周年を記念して制作しました。全国から寄せられた多くの応募作品の中から選ばれた熊本市八幡町の藤本征男さんの歌詞に、イルカさんに作曲していただきました。

今後、人間味あふれる街づくりの中で、熊本市をイメージする新しい歌として、広く市民の皆さんに親しまれ、また、機会あるごとに歌って頂ければ幸に存じます。

Guide Map

KUMAMOTO CITY

熊本市案内図



HAPPINESS KUMAMOTO KUMAMOTO SHISEI YÔRAN 資料編

■資料編目次

1. 気象概況	74
2. 熊本市の校区面積	
3. 推計人口・人口動態	
4. 年齢別（5歳階級）男女別人口	
5. 熊本都市圏人口	75
6. 産業大分類別事業所数・従業者数	
7. 農家数・農業就業者数・耕地面積の推移	
8. 工業の主要指標	
9. 商業の主要指標	
10. 熊本市消費者物価指数	76
11. 熊本市全世帯1か月間の平均支出	
12. 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・専修・各種学校の状況	
13. 道路状況	
14. 市内公園数及び面積	
15. 下水道状況	77
16. 医療施設	
17. ごみ・し尿収集処理状況	
18. 市民病院利用状況	
19. 市立産院利用状況	
20. 熊本市の主要死因別死亡者数	78
21. 生活保護状況	
22. 国民年金	
23. 国民健康保険給付状況	
24. 老人福祉状況	
25. 保育所の概要	79
26. J R 市内駅乗客数状況	
27. 市内自動車登録台数	
28. 市営電車・市営バス利用状況	
29. タクシー及びハイヤーの登録台数	80
30. 電話の概況	
31. 郵便物取扱数	
32. 電灯・電力需要状況	
33. ガス需要状況	
34. 上水道給水状況	81
35. 交通事故の状況	
36. 刑法犯罪認知件数	
37. 火災の原因別件数	
38. 救急活動状況	
市内の主な官公庁	82

1. 気 象 概 況

年 次	気 温 (℃)			降 水 量 (mm)		日照時間	風 速 (m/sec)			平均湿度 (%)	地震回数 (有感)
	平 均	最 高	最 低	総 量	最大日量		平 均	10分間最大	瞬間風速		
平成10年	18.2	35.8	-6.1	1,905.0	135.0	1,863.8	1.9	11.0	26.3	72	14
11年	17.0	35.8	-4.3	1,946.0	154.5	1,867.4	2.3	24.9	49.0	70	18
12年	17.1	37.1	-4.4	1,825.5	124.5	2,076.0	2.3	12.2	23.1	69	26

2. 熊本市の校区面積（平成 6 年10月 1 日現在）

単位：km²

校 区	面 積	校 区	面 積	校 区	面 積	校 区	面 積	校 区	面 積	校 区	面 積
壺 川	1.14	城 西	4.94	高 橋	0.14	若 葉	1.08	月 出	0.84	飽 田 東	3.70
碩 台	0.63	花 園	5.41	池 上	6.84	城 北	1.92	出 水 南	1.96	飽 田 南	3.64
白 川	1.05	池 田	2.88	城 山	4.31	尾 ノ 上	1.58	健 軍 東	0.48	飽 田 西	4.89
城 東	0.96	出 水	0.68	託 麻 原	1.76	西 原 台	2.15	城 南	1.72	中 緑	3.42
慶 徳	0.44	白 坪	2.25	秋 津	4.19	高 平	3.52	田 迎 南	1.68	銭 塘	4.86
一 新	1.58	画 図	5.66	松 尾 東	4.90	楠	0.80	弓 削	1.24	奥 古 閑	7.53
五 福	0.32	砂 取	2.09	松 尾 西	4.48	託 麻 東	11.09	託 麻 南	2.01	川 口	3.57
向 山	1.42	健 軍	2.01	松 尾 北	2.34	託 麻 西	3.35	山 ノ 内	1.38	長 嶺	2.81
黒 髪	4.00	清 水	3.47	泉 ケ 丘	1.54	託 麻 北	6.51	榆 木	1.25		
大 江	1.40	日 吉	3.69	小 島	4.97	桜 木	1.99	川 上	10.22		
本 荘	0.53	川 尻	4.34	龍 田	4.71	東 町	1.65	西 里	15.96		
春 竹	1.78	力 合	3.22	帯 山	1.59	麻 生 田	2.16	北 部 東	3.56		
古 町	0.54	御 幸	5.40	中 島	7.56	武 蔵	1.03	芳 野	23.23		
春日	1.70	田 迎	2.07	白 山	1.14	帯 山 西	0.86	河 内	10.72	合 計	266.25

3. 推計人口：人口動態

年 次	世 帯 数	人 口	転 入			転 出			出 生	死 亡
			総 数	県 外	県 内	総 数	県 外	県 内		
平成11年	261,950	661,619	31,750	20,500	11,250	32,642	21,244	11,398	6,925	4,551
12年	260,672	662,012	32,731	20,876	11,855	31,942	20,801	11,141	7,146	4,369
13年	265,221	665,933	32,583	20,839	11,744	31,647	21,223	10,424	6,961	4,427

(注) 世帯数・人口は各年10月 1 日現在。

(注) 異動数、出生数、死亡数は歴年の数値である。

4. 年齢別（5 歳階級）男女別人口（平成13年10月 1 日現在住民基本台帳を基準とした参考数値）

年 齢	計	男	女	年 齢	計	男	女	年 齢	計	男	女
総 数	657,838	312,087	345,751	35～39歳	42,616	20,175	22,441	75～79歳	21,469	8,294	13,175
0～4歳	34,049	17,458	16,591	40～44	43,475	20,905	22,570	80～84	13,370	4,475	8,895
5～9	34,272	17,514	16,758	45～49	46,434	22,417	24,017	85～89	8,043	2,424	5,619
10～14	36,243	18,516	17,727	50～54	53,610	25,703	27,907	90～94	3,459	849	2,610
15～19	41,429	21,373	20,056	55～59	36,503	17,033	19,470	95～99	832	166	666
20～24	46,183	23,551	22,632	60～64	35,103	15,958	19,145	100歳以上	103	14	89
25～29	51,224	24,995	26,229	65～69	33,582	15,022	18,560				
30～34	46,637	22,445	24,192	70～74	29,202	12,800	16,402				

5. 熊本都市圏人口

地 域	総 人 口			増 減 数		増 減 率 (%)		(km ²) 面 積 (平成12年)	1 km ² 当たり 人口密度 (平成12年)
	平成 2 年	平成 7 年	平成12年	2 ～ 7 年	7 ～ 12年	7 ／ 2 年	12／ 7 年		
熊 本 県	1,840,326	1,859,793	1,859,344	19,467	△ 449	1.1	0.0	7,403.68	251
都 市 圏	736,987	770,102	787,960	33,105	17,858	4.5	2.3	459.43	1,715
熊 本 市	579,306	650,341	662,012	71,035	11,671	12.3	1.8	266.77	2,482
6 町 計	157,681*	119,761	125,948	...	6,187	...	5.2	192.66	654

(注) 人口は国勢調査人口である。面積は国土交通省国土地理院発行「平成12年全国都道府県市区町村別面積調」による。 *10町である。

6. 産業大分類別事業所数・従業者数（民営）（平成11年事業所・企業統計調査）

産 業 別	事業所数	従業者数	産 業 別	事業所数	従業者数	産 業 別	事業所数	従業者数
総 数	30,912	271,327	製 造 業	1,216	22,802	運 輸 通 信 業	805	14,650
農 林 漁 業	30	338	卸売・小売業、飲食店	14,378	104,203	電気・ガス・熱供給・水道業	8	982
鉱 業	6	27	金 融 保 険 業	757	12,884	サ ー ビ ス 業	9,653	85,470
建 設 業	2,681	25,644	不 動 産 業	1,378	4,327			

7. 農家数・農業就業者数・耕地面積の推移（農業センサス）

年 次	農 家 数 (戸)				農業就業 人口 (人)	経 営 耕 地 面 積 (ha)			
	総 数	専 業	第 1 種兼業	第 2 種兼業		総 面 積	田	畑	樹 園 地
平成 2 年	3,961	1,056	902	2,003	7,696	3,789	2,528	984	277
7 年	6,857	2,115	1,769	2,973	13,538	7,771	4,869	1,122	1,780
12年	5,310	1,766	1,374	2,170	11,858	7,150	4,519	939	1,692

(注) 平成12年は販売農家のみ。

8. 工業の主要指標（工業統計調査）

年 次	事 業 所 数		従 業 者 数				製造品出荷額等（百万円）	
	総 数	対前年比	総 数	対前年比	うち個人業主及び家族従事者数	常用雇用者数	総 額	対前年比
平成10年	702	99.7	19,736	97.4	137	19,599	532,020	87.1
11年	645	91.9	18,895	95.7	111	18,784	433,288	81.4
12年	609	94.4	18,371	97.2	114	18,257	448,605	103.5

(注) 従業者 4 人以上の事業所。

9. 商業の主要指標（商業統計調査）

年 次	商 店 数			従 業 者 数			年 間 商 品 販 売 額 (百万円)		
	総 数	卸 売 業	小 売 業	総 数	卸 売 業	小 売 業	総 数	卸 売 業	小 売 業
平成 6 年	10,964	3,058	7,906	76,865	33,103	43,762	3,039,117	2,229,891	809,227
9 年	10,018	2,637	7,381	71,392	29,013	42,379	3,149,762	2,329,353	820,409
11年	10,069	2,781	7,288	77,666	30,561	47,105	2,987,106	2,162,420	824,686

(注) 平成 6 年、9 年は小売業調査。

10. 熊本市消費者物価指数（平成7年＝100）

年次	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履き物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
平成10年	102.5	102.8	104.3	103.5	93.1	107.6	112.3	95.6	107.1	101.0	101.8
11年	102.5	102.9	104.5	102.0	91.6	109.1	111.2	95.4	109.2	100.5	102.6
12年	101.8	100.5	105.5	102.1	88.8	108.7	110.2	96.0	109.3	100.0	102.4

11. 熊本市全世帯1か月の平均支出

年次	消費支出											現物総額
	総額	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履き物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	その他	
平成10年	316,444	69,475	22,315	21,145	10,807	17,641	12,204	28,827	12,898	27,485	93,646	10,703
11年	299,524	70,161	21,667	21,019	10,824	17,122	11,077	30,784	13,263	29,338	74,270	10,597
12年	304,686	64,570	24,411	20,843	8,277	16,481	10,759	36,418	12,465	26,809	83,652	10,236

12. 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・専修・各種学校の状況（各年5月1日現在）

年次	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		短期大学		大学 (大学院・専攻科を含む)		専修・各種学校	
	園数	園児数	学校数	児童数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数
平成11年	57	10,114	82	42,260	45	24,269	28	30,665	3	1,700	7	30,718	42	9,928
12年	57	10,064	82	41,748	45	23,631	28	30,752	3	1,488	7	30,161	42	9,818
13年	57	9,937	82	41,429	45	23,075	28	30,751	3	1,273	7	29,528	42	9,595

13. 道路状況（各年度末現在）

年度	国道				県道				市道			
	延長		面積		延長		面積		延長		面積	
	総延長	舗装延長	総面積	舗装面積	総延長	舗装延長	総面積	舗装面積	総延長	舗装延長	総面積	舗装面積
平成10年度	67,364	67,364	1,657,101	…	242,568	242,122	3,380,745	…	2,347,482	2,064,204	11,954,671	…
11年度	72,308	72,308	1,675,409	…	242,581	247,166	3,606,714	…	2,368,785	2,093,347	12,159,923	…
12年度	67,793	67,793	1,681,853	…	246,463	246,048	3,618,900	…	2,387,573	2,116,084	12,313,168	…

（注）総面積については、道路敷面積。舗装道、砂利道については車道部分の面積。

14. 市内公園及び面積（平成12年度末現在）

公園別 区分	総数	街区公園	近隣公園	地区公園	総合公園	運動公園	広域公園	特殊公園	墓地	都市緑地	まちの広場・その他
公園数	807	611	25	5	1	3	1	14	3	49	95
面積	557.20	75.24	36.27	23.09	53.57	115.03	113.54	33.84	17.80	79.75	9.07

15. 下水道状況（各年度末現在）

年度	処理区域面積 (ha)	排水区域内人口 (A)	普及率(%) A／行政人口	処理下水量 (m ³)	下水道使用料 調定件数	水洗便所取付戸数
平成10年度	7,848	477,240	74.0	74,934,000	1,964,062	143,160
11年度	8,040	485,510	75.0	74,781,575	2,027,458	146,830
12年度	8,268	495,380	76.1	77,109,957	2,127,025	150,201

16. 医療施設（各年9月末現在）

年次	病 院										一般診療所・歯科診療所			
	施 設 数				病 床 数						一般診療所		歯科診療所	
	総数	精神病院	一般病院	(再掲)療養型病床群を有する病院	総数	精神	感染症	結核	一般	(再掲)療養型病床群	施設数	病床数	施設数	病床数
平成10年	95	15	80	12	14,965	2,815	40	32	12,078	1,018	554	3,453	313	20
11年	93	15	78	27	14,723	2,815	6	32	11,870	3,118	559	3,355	316	20
12年	93	15	78	32	14,633	2,810	16	32	11,775	3,681	570	3,207	320	20

17. ごみ・し尿収集処理状況

年度	ごみ					し尿			
	収集総量	処理内容				収集総量	処理場別処理内容		
		総数	焼却	埋立	再資源化		総量	秋津浄化センター	中部浄化センター
平成10年度	327,754	327,754	270,933	26,191	30,630	99,823	99,823	53,496	46,327
11年度	344,817	344,817	279,622	35,272	29,923	91,456	91,456	47,596	43,860
12年度	333,768	333,768	281,992	25,397	26,379	89,133	89,133	45,596	43,537

18. 市民病院利用状況

年度	医療従事者数			病床数	入院患者数				外来患者延数
	医師	薬剤師	看護婦		在院延数	入院数	退院数	年度末現在数	
平成10年度	77	14	358	580	201,745	9,503	9,527	498	305,059
11年度	78	14	356	564	192,245	9,878	9,913	455	303,586
12年度	77	15	350	556	195,131	10,301	10,278	478	300,090

19. 市立産院利用状況

年度	医師	薬剤師	看護婦	病床数	入院・外来件数			分娩数
					計	入院件数	外来件数	
平成10年度	3	1	28	38	24,413	10,026	14,387	486
11年度	3	1	29	38	21,238	8,741	12,497	416
12年度	3	1	28	38	21,102	7,839	13,263	381

20. 熊本市の主要死因別死亡者数

年 度	脳血管疾患	悪性新生物	心 臓 疾 患	肺 炎	不慮の事故及び 有 害 作 用	腎 不 全	肝 疾 患	自 殺
平成10年	507	1,299	610	377	137	92	52	132
11年	526	1,384	691	485	170	94	71	146
12年	495	1,404	634	425	164	111	70	125

21. 生活保護状況（月平均）

年 度	被 保 護 実 世 帯								被 保 護 実 人 員							
	生活 扶助	住宅 扶助	教育 扶助	医療 扶助	介護 扶助	出産 扶助	生業 扶助	葬祭 扶助	生活 扶助	住宅 扶助	教育 扶助	医療 扶助	介護 扶助	出産 扶助	生業 扶助	葬祭 扶助
平成10年度	4,826	4,574	471	5,387	—	1	3	12	7,331	6,734	746	6,770	—	1	3	12
11年度	5,033	4,640	485	5,601	—	1	2	12	7,592	6,779	784	7,045	—	1	2	12
12年度	5,204	4,722	499	5,796	682	1	3	11	7,792	6,826	793	7,268	688	1	3	11

22. 国民年金（各年度末現在）

年 度	被 保 険 者 数				免除者数	保 険 料 収納済額	受 給 権 者 数			年 金 支 給 額
	総 数	強制加入	任意加入	第 3 号			総 数	拠 出	福 祉	
平成10年度	169,359	105,475	1,950	61,934	26,847	8,402,382	81,083	75,241	5,842	46,289,510
11年度	172,572	109,254	1,858	61,460	30,277	8,408,382	85,559	79,922	5,637	50,185,516
12年度	173,892	111,106	1,822	60,964	33,848	8,251,080	90,237	84,739	5,498	53,863,933

23. 国民健康保険給付状況

年 度	被 保 険 者 数		保 険 料		給 付 額					
	世 帯 数	人 員	調 定 額	収 入 額	総 計	療養給付	療 養 費	出産給付	葬祭給付	高額療養費
平成10年度	101,447	202,266	21,113,209	15,146,983	26,903,358	23,671,727	175,635	337,170	55,860	2,662,966
11年度	106,240	209,519	22,144,982	16,100,903	27,807,807	24,446,209	182,495	311,700	58,180	2,809,223
12年度	110,800	216,099	23,530,000	16,836,414	28,900,853	25,321,704	185,510	345,300	56,460	2,991,879

24. 老人福祉状況（各年度末現在）

年 度	高 齢 者 数	施設措置人員	老人ホームヘルパー数	老人クラブ会員数	老人センター 利用者数（1日平均）	老人想いの家数
平成10年度	101,358	1,548	1,259	31,930	859	133
11年度	105,115	1,557	1,374	31,345	839	133
12年度	108,911	372	1,561	31,078	840	135

25. 保育所の概要（各年4月1日現在）

年 次	保 育 所 数			職 員 数			入 所 者 数		
	計	市 立	私 立	計	市 立	私 立	計	市 立	私 立
平成10年	127	21	106	1,719	236	1,483	10,485	1,672	8,813
11年	128	21	107	1,875	240	1,635	10,883	1,678	9,205
12年	128	21	107	1,852	238	1,614	11,232	1,729	9,503

26. J R 市内駅乗客数状況（平成12年度）

駅 名	乗 車 人 員	乗 車 人 員
	総 数	定 期 外
総 数	8,938,501	4,780,343
西 里	36,631	27,110
熊本工大前	284,800	245,557
上 熊 本	903,814	607,335
熊 本	4,198,092	1,541,992
川 尻	457,881	344,466
平 成	167,428	83,132
南 熊 本	225,762	124,156
新水前寺	784,492	565,190
水 前 寺	655,297	418,387
東海学園前	299,757	197,253
竜 田 口	164,203	99,120
武 蔵 塚	760,344	526,645

27. 市内自動車登録台数

年 度	総 数	乗 用 車	貨 物 車	バ ス	特殊用途車	大型特殊車	軽 自 動 車
平成10年度	364,587	224,919	42,070	1,190	5,773	895	89,740
11年度	367,103	226,152	41,359	1,191	6,262	903	91,236
12年度	370,527	226,982	39,768	1,187	6,438	876	95,276

28. 市営電車・市営バス利用状況（各年度末現在）

年 度	市 営 電 車 営 業 路 線 ・ 乗 客 数				市 営 バ ス 営 業 路 線 ・ 乗 客 数			
	営業路線（km）	総 数	定 期	定 期 外	営業路線（km）	総 数	定 期	定 期 外
平成10年度	12.1	10,759	1,274	9,485	177.4	18,677	2,178	16,499*
11年度	12.1	10,868	1,174	9,694	187.4	17,555	1,861	15,694*
12年度	12.1	10,418	1,057	9,361	187.8	17,067	1,599	15,468

（注）＊は貸切を含む。

29. タクシー及びハイヤーの登録台数（各年度末現在）

年 度	登 録 台 数				経 営 体 数		
	総 数	大 型 車	中 型 車	小 型 車	総 数	法 人	個 人
平成10年度	2,534	20	58	2,456	535	56	479
11年度	2,518	20	54	2,444	528	56	472
12年度	2,536	22	52	2,462	521	57	464

30. 電話の概況（各年度末現在）

年 度	電 話 利 用 台 数					
	総 数	加 入 電 話		公 衆 電 話		
		事 務 用	住 宅 用	カード公衆（再掲）		
平成10年度	383,751	103,575	275,282	4,894	4,894	
11年度	302,304	80,563	217,776	3,965	3,965	
12年度	278,414	72,416	202,254	3,744	3,744	

31. 郵便物取扱状況 単位：1,000通

年 度	引受通常郵便物数（県内）				引受小包郵便物数（県内）			
	総 数	普通通常	書留としない速達等	書 留	総 数	普 通	書留としない速達等	書 留
平成10年度	196,136	189,602	2,631	3,903	4,407	4,233	113	61
11年度	194,101	187,371	2,594	4,136	5,075	4,853	169	53
12年度	196,438	190,773	2,092	3,573	4,495	4,284	164	47

32. 電灯・電力需要状況 単位：1,000Kwh

分 類	電 灯 需 要			分 類	電 力 需 要		
	平成10年度	11 年 度	12 年 度		平成10年度	11 年 度	12 年 度
総 計	1,467,109	1,488,201	1,533,818	総 計	2,732,730	2,675,295	2,776,720
定 額 電 灯	26,861	27,635	28,217	業務用電力	1,109,414	1,111,294	1,139,532
従量電灯A B	1,191,196	1,187,242	1,200,825	小口電力	530,609	520,838	537,104
従量電灯C	245,094	269,429	300,922	大口電力	994,278	949,800	1,012,617
そ の 他	3,962	3,895	3,854	そ の 他	98,429	93,363	87,467

33. ガス需要状況 単位：1,000m³

年 度	総 数		家 庭 用		商 業 用		工 業 用		そ の 他	
	戸 数	消 費 量	戸 数	消 費 量	戸 数	消 費 量	戸 数	消 費 量	戸 数	消 費 量
平成10年度	113,066	54,183	103,840	26,351	7,502	13,836	126	1,199	1,598	12,797
11年度	113,803	55,579	104,353	27,680	7,619	13,783	134	1,137	1,697	12,980
12年度	114,914	55,629	105,138	27,383	7,853	13,856	155	1,033	1,768	13,357

34. 上水道給水状況 単位：1,000m³

年 度	給水戸数	給水人口	配 水 量				有収水量	有 収 率
			総 量	1 日平均	1 日最大	1 日最少		
平成10年度	252,670	638,049	88,721	243	276	187	78,310	88.3
11年度	255,250	640,748	87,813	241	285	181	77,297	88.0
12年度	256,124	643,042	87,983	240	268	186	77,501	88.1

35. 交通事故の状況

年 次	総 数			熊 本 北 署			熊 本 南 署			熊 本 東 署		
	件 数	死 者	傷 者	件 数	死 者	傷 者	件 数	死 者	傷 者	件 数	死 者	傷 者
平成10年	5,026	27	6,198	1,815	11	2,218	1,510	10	1,887	1,701	6	2,093
11年	5,328	39	6,510	1,885	11	2,289	1,626	16	1,977	1,817	12	2,244
12年	5,717	33	7,033	2,028	15	2,472	1,654	8	2,030	2,035	10	2,531

36. 刑法犯罪認知件数

年 度	総 数	凶 悪 犯	窃 盗	粗 暴 犯	知 能 犯	風 俗 犯	そ の 他
平成10年	10,207	37	8,836	252	219	34	829
11年	9,605	43	8,393	256	248	28	637
12年	12,093	66	10,288	382	341	45	971

37. 火災の原因別件数

区分 年次	合計	たばこ	たき火	火遊び	こんろ		放火 (疑合)	風呂 かまど	ストーブ	マッチ ライター	煙突 煙道	電灯電話 配 線	電気機器	焼却火	不明	その他
					こんろ	天ぷら油										
平成10年	290	27	—	17	7	54	78	6	6	4	2	10	23	15	11	30
11年	255	30	21	17	5	39	57	2	10	3	—	6	7	—	13	45
12年	231	19	10	12	14	34	43	3	12	4	1	8	5	—	11	55

38. 救急活動状況（平成12年）

区 分	合 計	事 故 種 別										
		火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	その他
出場件数	20,910	225	—	9	3,596	159	205	2,288	234	435	11,337	2,422
搬送人員	19,360	22	—	4	3,721	147	228	2,146	209	290	10,491	2,102

熊本市民 愛市憲章

——品位ある市民の誇りのために——

- 1 私たち熊本市民は、清潔で住みよい街をつくりましよう。
- 1 私たち熊本市民は、郷土の自然や文化財を大切にいたしましょう。
- 1 私たち熊本市民は、時間を正しく守りましよう。
- 1 私たち熊本市民は、交通道德を重んじましよう。
- 1 私たち熊本市民は、互いにあたたかく交わり、旅行者を親切に迎えましよう。

(昭和35年5月11日制定)

都市宣言

「森の都」都市宣言に関する決議

自然環境の回復による生活環境の保全は、今や人類共通の課題となっている。

由来、わが熊本市は、豊かな緑、清冽な水に恵まれた自然の下、今日の発展を遂げてきたが、急激な都市化の波に、今や昔日の面影は一変しようとしている。

ここにおいてわれわれは、市民の総力を結集して緑と水の保全・回復につとめ、もって人間優先の快適な都市環境づくりに邁進せんことを誓い、わが熊本市を「森の都」とすることを宣言する。

昭和47年10月2日

熊本市議会

地下水保全都市宣言に関する決議

限りある地球の資源の保全は、自然環境の回復と共に人類共通の課題であり、水資源についてもその例外ではない。古来、わが熊本市は豊かな緑と清冽な地下水に恵まれた自然の下生々発展を遂げて来たが、今日における無秩序な地下水の開発と自然環境の破壊は、今や地下水の汚染をはじめその枯渇さえ憂慮される状態にある。

よって、本議会は市民の総意を結集して自然環境の回復、保全をはかり、貴重な水資源を後世まで守り伝えていくことを誓い、ここにわが熊本市を地下水保全都市とすることを宣言する。

昭和51年3月22日

熊本市議会

健康都市宣言

熊本市は、緑と水に恵まれた豊かな自然と先人が築いた伝統と文化を擁し、地方における近代的な中枢都市として発展しつつある。

しかし、都市化の進展に伴い市民生活を支える基本である心身の健康を阻害する要因が増大している。

熊本市は、市民とともに明るく健康な都市をめざして諸施策を結集し、その実現につとめなければならない。

ここに、すべての市民の健康を市政の目標として、熊本市を「健康都市」とすることを宣言する。

昭和54年10月1日

熊本市

平和都市宣言

熊本市は、先の大戦において、多くの尊い人命を失うとともに、市街地のほとんどを焼失するなど、大きな災禍を被った。

戦後、焦土の中から立ち上がった市民の英知とたゆまぬ努力によって、緑と水の豊かな自然環境や先人の築いた歴史と文化に支えられながら、今や九州中央の中枢都市として着実に発展を続けている。

私たち熊本市民は、戦後50周年の大きな節目にあたり、先の大戦への深い反省に立ち、未来に向けて平和で豊かな社会を築き、かけがえのない自然環境を次代に引き継ぐため、再び戦争の惨禍を繰り返さないことを誓うとともに、人類共通の願いである世界の恒久平和の達成を希求し、ここに「平和都市」を宣言する。

平成7年7月27日

熊本市

環境都市宣言

私たちのふるさと熊本市は、大阿蘇の大地を源とする地下水と緑に恵まれ、この豊かな自然の中で重厚な文化をはぐくみ、「森の都」と呼ばれる美しい近代都市として発展してきました。

しかし、近年、都市化の進展と生活様式の多様化などにより、自然の仕組みが損なわれ、恵みの地下水も将来が危ぶまれています。

いまこそ私たちは、大気と水と大地で成り立つ地球の自然が、人類だけではなく生命あるものすべてにとって、かけがえのないものであることをあらためて思い起こし、その保全のために、自然界の生態系に学んだ循環型社会へと、転換を図っていかねばなりません。

私たちは、美しく豊かなこのふるさとの環境を守り育て、これを次の世代に引き継いでいくことを誓い、ここに熊本市を「環境保全都市」とすることを宣言します。

平成7年9月25日

熊本市

スポーツ都市宣言に関する決議

全ての市民が生涯にわたり活力に満ちた健康的な生活を営むことは、まちづくりの基本である。

スポーツの振興は、市民生活の根幹となる心身の健康の保持に欠かせないものであるが、加えて、青少年の健全育成、生き甲斐づくり、地域との交流、自然とのふれあいといった多くの観点からも積極的に推進していく必要がある。

よって、本議会は、21世紀に向け3つのスローガンを掲げ、全ての熊本市民がスポーツを通して健康的でいきいきと生活できる都市を目指すことを誓い、ここに我が熊本市を「スポーツ都市」とすることを宣言する。

- 1 スポーツを通じて健やかなこころと体を創ろう。
- 1 スポーツを通じて人と自然にふれあおう。
- 1 スポーツを通じていきいきとしたまちを創ろう。

平成11年8月27日

熊本市議会

あとがき

この市勢要覧は、本市の概要を御理解いただくため編集いたしました。既刊の市勢要覧より内容を充実したものを目指しましたが、不十分なところも多く、今後、よりよいものとしていきたいと存じますので御利用いただいた方々の御意見をいただければ幸に存じます。

なお、編集にあたりましては、多くの方々から貴重な資料や写真の提供など御協力いただきました御厚意に対し、厚く御礼申し上げます。

平成13年度

熊本市勢要覧

印刷発行／平成14年3月

編集発行／熊本市総務局

情報企画部統計課

熊本市手取本町1番1号

TEL 096-328-2111

印刷所／コロニー印刷

熊本市二本木3丁目12-37

TEL 096-353-1291



表紙絵／熊本城絵図（永青文庫蔵）



しあわせ実感くまもと